

専修大学商学研究所所報

(2010年3月1日現在)

1 運営

- (1) 第1回定期所員総会 (2009・5・19)
1. 平成20年度事業ならびに会計報告 (承認)
 2. 平成21年度事業実行計画案 (承認)
 3. 平成21年度実行予算案 (5,996,000円) (承認)
- 【人事課移管分人件費 (アルバイト料) 919,000円】 (承認)
- (2) 第2回定期所員総会 (2010・1・12)
1. 平成21年度事業中間報告
 2. 平成22年度事業計画 (承認)
 3. 同 予算要求 (承認)
 4. 同 予算要求明細 (承認)
- (3) 運営委員会 (6回開催)

2 研究活動

- (1) 定例研究会
1. 松永久氏 (三菱総合研究所海外事業研究センター主任研究員, 日本ミュージアム・マネジメント学会理事) 「わが国における観光産業の現状—事例紹介を含めて—」 (5月19日) 14名
 2. 飯田巳貴所員 「中近世イタリア商人の情報網とマーケティング」 (7月21日) 10名
 3. 佐々木仰氏 (㈱インフィールドデザインパートナー, ビジネスファクター) 「エクスペリエンス・デザインへの取り組み」 (1月12日) 15名
- (2) 公開シンポジウム
専修大学商学研究所, KSコミュニティ・
ビジネス・アカデミー共催 公開シンポジウム

<テーマ>
ソーシャル・ビジネスの課題と展望
—社会的事業のティッピング・ポイントを探る—

<趣旨>
近年, 子育て支援や社会的弱者の支援, 環境保全活動など, 様々な社会・経済的課題に取り組む事業活動, すなわち「ソーシャル・ビジネス」が各地で展開されています。反面, こうした事業活動が地域社会で十分な成果を発揮できないまま社会・経済的課題の解決が進まない状況も散見されます。

そこで, この公開シンポジウムでは, ソーシャル・ビジネスの第一線で活躍する実務家と研究者を招き, 社会的な事業活動が進んでいくためのティッピング・ポイント (成長の分岐点となる要因) や, ソーシャル・ビジネスと社会変革に関する実践的・理論的課題と展望について検討していきます。

<日時と会場>
2009年8月29日 (土) 15:00~17:00
専修大学サテライトキャンパス
(小田急・向ヶ丘遊園駅北口) 参加費無料 (定員50名)

<ファシリテーター>
神原理 (専修大学商学部教授, KSコミュニティ・ビジネス・アカデミー副アカデミー長)

<パネリスト>
・嵯峨生馬 (NPO法人アースデーマネー代表)
・大室悦賀 (京都産業大学経営学部准教授)

専修大学商学研究所公開シンポジウム, 大学院商学研究科後援

<テーマ>
経営者の意思決定とリスクマネジメント—研究者と実務家によるリスクマネジメント問題の検討—

<趣旨>
企業経営はそのサイズにかかわらず, 変化する外部環境変化のなかで, 内部資源を有効活用しながら多様なリスク, チャンスをいかに最適化していくかがポイントとなります。
この公開シンポジウムでは, まず企業経営に決定的な影響を持つ経営者リスクに焦点を当て, 倫理リスクや経営者資質の向上策などについて検討し, 今後のリスクマネジメントの方向性を探っていきます。

次に実務家2人による実践を踏まえた報告が行われます。第1は企業価値を向上させるためのイノベーションについて, その意思決定の実際, リスクマネジメントとの関連性などについて検討し, 第2に企業価値に大きな影響を及ぼすM&A問題について, 米国他での長年の実務経験などから得られた知見について報告があります。

最後にパネルディスカッションを通し, フロアからの質問, 報告者間の意見交換会を通し, 今後のリスクマネジメントにおける実

践的・理論的課題と展望について検討していきます。

<日時と会場>
2009年11月7日 (土) 13:30~17:00
専修大学神田校舎 7号館731教室 参加費無料

<報告者>
上田和勇 (専修大学教授, 大学院商学研究科長)
「経営者リスクとリスクマネジメントの方向性」
長田邦男 (株式会社 イノバ代表取締役社長)
「イノベーションにおける意思決定とリスクマネジメント」
高野仁一 (米国公認会計士, 専修大学大学院博士後期課程)
「M&Aにおける意思決定とリスクマネジメント」

<パネルディスカッション>
コーディネーター: 上田和勇 (専修大学教授, 大学院商学研究科長)
パネラー: 長田邦男 (株式会社 イノバ代表取締役社長)
高野仁一 (米国公認会計士, 専修大学大学院博士後期課程)
横山裕昭 (株式会社モバイルコンピューティングテクノロジーズ代表取締役社長)

(3) 研究プロジェクト

- (A) 神原チーム: 神原理所員・大林守所員・前川明彦所員・川名和美先生 (50万) 3ヵ年計画の3年目
「ソーシャル・ビジネス—社会変革的事業のティッピング・ポイント—」
- (B) 杉野チーム: 杉野文俊所員・上田和勇所員・伊藤和憲所員・姜徳洙所員・高野仁一準所員・長田邦男氏 (50万) 2ヵ年計画の1年目
「リスクマネジメント・アプローチによる企業価値の研究—その理論と実践—」
- (C) 小林チーム: 小林守所員・大西勝明所員・高橋義仁所員・中野正也氏 (50万) 3ヵ年計画の1年目
「東アジアにおける企業発展と各国政府の支援政策の動向に関する研究」

3 刊行書籍

- (1) 商学研究報発行
- 第41巻第1号 (2009・6) 小藤康夫所員
「新しい中小企業金融と押しのけ効果」
- 第41巻第2号 (2009・9) 小林守所員
「主要国の公的貿易保険をめぐる現状と課題—先進国と新興国の国際比較を中心として—」
- 第41巻第3号 (2009・10) 梶原勝美所員
「ブランドの展開モデルと事例研究」
- 第41巻第4号 (2009・12) 岩尾詠一郎所員
「物流センターから納品先までの物流活動における効率化方法の検討」
- 第41巻第5号 (2010・1) 神原理所員
専修大学商学研究所公開シンポジウム 専修大学KSコミュニティ・ビジネス・アカデミー共催
「ソーシャル・ビジネスの課題と展望—社会的事業のティッピング・ポイントを探る—」
- 第41巻第6号 (2010・1) 田中和雄所員
「資本主義的分業の展開と統制概念—労働における「管理的要因」の分離と再統合の過程に関する研究との関連で—」
- 第41巻第7号 (2010・1) 奥瀬喜之所員
「販促キャンペーンと消費者媒体接触状況との関係性に関する実証的考察—潜在クラス分析のシングルソースデータへの適用—」
- 第41巻第8号 (2010・2) 生田目崇所員・須山憲之準所員
「小売店の購買行動における天気の影響—スーパーマーケットのPOSデータを用いた分析—」
- (2) 専修ビジネスレビュー発行
第5号 (2010・3)
- (3) 商学研究叢書
叢書第9巻「ビジネスインテリジェンスを育む教育」 (白桃書房, 2010・3)

4 その他

所員数は, 合計85名 (内, 準所員5名)。